

議 事 録

会議の名称	令和3年度 第2回 富士見市男女共同参画社会確立協議会
開催日時	令和3年7月28日(水) 10:00 ~ 12:10
開催場所	市役所 分館3階 会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・猪俣由美子会長、吉川幸子副会長 藁谷浩一委員、小林久美子委員、岩田広美委員、 奥住幸江委員、武田圭介委員 ・黒須さち子専門員
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局 人権・市民相談課 中嶋課長、豊田主査
欠席者	<ul style="list-style-type: none"> ・川井桂子委員、羽石貴裕委員、河合恵子委員、大澤啓矢委員、 古寺優一委員
会議次第	<p>議 事</p> <p>(1) 令和2年度年次報告について</p> <p>(2) プラン(第4次)の評価基準について</p>
資 料	<p>(資料1) プラン(第3次中間見直し版)達成度の評価基準</p> <p>(資料2) 令和2年度進捗状況報告</p> <p>(資料3) 令和2年度評価指標進捗状況調査票</p> <p>(資料4) プラン(第3次中間見直し版)の基本目標達成度割合</p> <p>(資料5) プラン(第4次)の評価基準について(案)</p>
公開・非公開	公開(傍聴者 0人)

あいさつ

- ・会長、人権・市民相談課長

議事

(1) 令和2年度年次報告について

・資料1について

委員長…年次報告の確認の前に、評価基準について、ご意見・ご質問を。

事務局…各課照会の際、コロナウイルスによる中止の場合は“3”にするよう伝えたが、課によって事業がいくつもある中で、一部は実施したなど、実施割合にはばらつきがあった。担当課による自己評価となっている。

委員…評価3と評価4の違いがわかるように記述したほうがよい。

委員…企画の初期段階なのか最終段階なのかでも評価が変わってくる。

委員…「達成度」という表現でなく、「評価」のほうが適切ではないかと思う（第3次プランについての変更ではなく、第4次プランに関連して）。ゴールに向かっての目標達成が一般的である。何をしたら「達成」であるのか、というのがわかりにくい。

事務局…庁内委員会、確立協議会の2つの委員会ですべてのチェックは難しい。各部署が年度当初に目標を立ててやっており、年度の中でできていれば良いと考える。

委員…達成度4と5の違いもわかりにくい。

事務局…4はまだ目標達成してない、5は目標達成しているといった違いであるが、説明の難しさがある。このことを踏まえ、次年度以降の評価基準の設定につなげたい。

委員…第3次プラン策定当初、この評価基準については議論があり、この5つに落ち着いた。ただ、担当課の自己評価であるため、問題意識の高い課では評価が低くなり、意識が低い課のほうが高くなってしまったことがある。

事務局…コロナウイルスによる中止は3、感染対策をしながら一部でも行ったものは4という評価で、担当課と相談する。

・資料2について

事務局…各課の事情があるため、「新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止」で統一する方向で考える（事業の詳細を書かずに）。

委員…学校関係では、表現の部分でいくつか修正した方がよい箇所がある。

事務局…それぞれ確認をする。

委員…取組No.13の「女性の参画を促進する基盤づくり」に関して、市のホームページ以外でも町会関係者へ話をする機会があると良い。

事務局…担当課長が町会の会合に出向いてお話をすることなどを考えている。

委員…取組No.13の「各種審議会への女性参画」について、取り組みと成果欄で、「…女性の参画の重要性について情報提供を行った」となっているが、どのような啓発を行ったというようなことが分かる表現に変えた方が良い。

委員…取組No.15では審議会の女性委員比率が31.6%で評価が3であるが、取組No.16

では市の管理職の女性割合が 20.0%で4とある。

事務局…資料3にあるように、プランの評価指標一覧で、No.16「市政への男女共同参画推進 市役所の管理職（副課長級以上）の女性職員の割合」の目標値が「20%であるため、評価4は妥当と考える。

委員…取組No.25は、中止の記述があるが、評価が4になっている。

事務局…確認する。

委員…取組No.27～29は、今後の課題について同じことが書かれているが評価が3～5に分かれた理由は。

事務局…それぞれの実施状況を踏まえての担当課の自己評価である。

委員…取組No.38の男性の育休の取得期間を参考に知りたい。

事務局…おおよそであるが、一か月前後の人が多い。1人だけ、半年程度取った職員がいたと聞いている。

委員…取組No.53の事業については、何を何回行ったのかを載せてほしい。

委員…取組No.62について、「男女のよさを認め」とあるが、その表現は適切か。

委員…「男女」と表現せず「お互いの」が良いのでは。

専門員…「よさ」という言葉が不要では。違いを認めることが大切である。

事務局…「お互いを認め」といった表現に変更する。

委員…取組No.78について、生涯学習課での啓発が「令和2年度は実施なし」とあるが、何年計画であるかを確認してほしい。

委員…取組No.78の学校教育課の評価が4であるが、「予定していた講座が実施できなかった」とあるので、その説明がほしい。

委員…コロナウイルス感染防止のため実施がなかったようなので、記載について担当課と確認する。

委員…“ドメスティック・バイオレンスの被害者”と“ドメスティック・バイオレンス被害者”とあるので、統一を。

委員…取組No.83“配偶者暴力相談支援センターを設置”は新規の取り組みなので、「」書きにしたほうがよい。

専門員…コロナウイルスによる中止の場合の評価であることがわかるように表記すると良い。書き方は統一したほうが見やすい。

委員…取組No.95について、男女共同参画社会確立協議会の開催数（6回）を記載したほうがよい。

（2）プラン（第4次）の評価基準について

事務局…資料5について説明。新しい評価の基準として、やむを得ない事情での中止の場合の“0 その他”を作った。0～4の4段階を提案する。

その他

(1) 次回の会議日程について

事務局…次の確立協議会は8月31日(火)を予定している。

閉 会 副会長

終了時間 12:10